

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 0016

平成31年度行政事業レビューシート (内閣府)																
事業名		休眠預金等活用に関する調査等に必要な経費			担当部局庁		政策統括官(経済社会システム)			作成責任者						
事業開始年度		平成29年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室		休眠預金等活用担当室			参事官 松下 美帆						
会計区分		一般会計														
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金 の活用に関する法律			関係する 計画、通知等		-									
主要政策・施策		-			主要経費		その他の事項経費									
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)		民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律(平成28年法律第101号)(以下、「法」という)により、法に基づき設置された休眠預金等活用審議会(以下、「審議会」という)において基本方針及び基本計画の審議をすることになっている他、内閣総理大臣が指定活用団体に対し、民間公益活動促進業務に関し監督上必要な命令をすることとなっている。これを踏まえ、審議会における議論及び指定活用団体に関する適切な監督に資するために、休眠預金等の活用に必要な調査を実施する。														
事業概要 (5行程度以内。 別添可)		・民間の公益的な活動を行う団体に対し資金的な支援を行う団体による資金供給の現状と需要を把握する他、休眠預金等を活用する海外の国や地域の経験や成功事例、今後の課題等を把握する。 ・官民連携による協働(コレクティブインパクト)に係る国内外事例を収集し、成果最大化の要素等を調査する。														
実施方法		直接実施、委託・請負														
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		予算 の状 況		28年度		29年度		30年度		31年度		32年度要求				
				当初予算		-		32		44		29		29		
				補正予算		-		-		-		-				
				前年度から繰越し		-		-		-		-				
				翌年度へ繰越し		-		-		-		-				
				予備費等		-		-		-		-				
		計		0		32		44		29		29				
		執行額				14		24								
		執行率(%)		-		44%		55%								
		当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)		-		44%		55%								
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)		歳出予算目		31年度当初予算		32年度要求		主な増減理由								
		市民活動促進等調査費		28		28										
		庁費		0.7		0.7										
		職員旅費		0.3		0.3										
		計		29		29										
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標				単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度			
		- <th colspan="2" rowspan="3">-<th>成果実績</th><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></th>		- <th>成果実績</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td>		成果実績	-	-	-	-	-	-				
						目標値	-	-	-	-	-	-				
						達成度	%	-	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載													チェック			
定量的な成果目標の設定が	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と28~30年度の達成状況・実績											
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標				定性的な目標:基本計画策定等に向けた審議会での議論の推進 平成29年度:社会的事業に対する資金提供実態に関する調査、ICTを活用した社会的インパクト評価ツールに関する先行事例調査等を実施。基本方針の決定(平成30年3月30日内閣総理大臣決定)に当たって活用された。 平成30年度:我が国の社会的事業に対する資金的及び非資金的支援の実態に関する調査、社会課題の解決に寄与する活動に対する資金提供に関する海外調査等を実施。2019年度基本計画の決定及び指定活用団体の2019年度事業計画の認可に当たって活用された。											

事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績				代替目標		代替指標				単位	28年度	29年度	30年度	中間目標	目標最終年度	
				基本計画の策定等について審議会で議論を行う		審議会の開催				実績	回	-	12	7	-	-
										目標値	回	-	10	12	-	-
										達成度	%	-	120	58	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)				活動指標						単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込	32年度活動見込	
				基本計画の策定等について審議会での議論に資する調査の実施件数				活動実績		-	3	3	-	-		
								当初見込み		-	2	6	3	-		
単位当たりコスト				算出根拠				単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込				
				執行額／調査数				単位当たりコスト		-	5	8	10			
								計算式		/	-	14/3	24/3	29/3		
生計・経済計画・財政政策との関係	政策評価	政策	3. 経済財政政策の推進													
		施策 <td colspan="13">⑦民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する制度の運用</td>	⑦民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する制度の運用													
事業所管部局による点検・改善																
	項 目					評 価	評価に関する説明									
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	休眠預金等の活用にあたっては、透明性の確保や多様が適切に反映されるよう配慮されるべきであり、審議会での十分な議論を行う必要がある。その議論に資するための調査であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。									
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	政府が審議会での議論を踏まえて基本計画を策定することとなり、そのための調査を行うもので、国が実施することが適当である。									
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	基本計画の策定等について審議会での議論に資するための調査を行うための経費であり、休眠預金等の活用にあたり必要な優先度の高い事業である。									
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					○	・支出先の選定にあたっては一般競争入札による入札を実施し、競争性の確保やコストの低減に努めている。 ・随意契約に関しては、価格の妥当性の検証に努め、随意契約審査委員会において契約内容などの事前審査を行うなど、適正性を確保している。									
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					無										
	競争性のない随意契約となったものはないか。					有										
	受益者との負担関係は妥当であるか。					-										
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	会計部署の定める規則等に基づいて実施した入札により支出先を選定しているため、単位当たりコスト等の水準は妥当である。									
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					-										
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	我が国における社会的事業の実態把握等に向けた調査等の実施に必要な調査経費等に限定されている。									
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					○	競争性の確保やコストの低減に努めるため、適正な手続きに基づいた入札を実施した結果、不用額が生じたことによるものであり、妥当である。									
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)					-											
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					○	入札時の仕様書作成にあたっては、真に必要なものに限り、多くの事業者が入札に参加できるような業務とする等により、競争性の確保やコストの低減に努めている。										
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					-										
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					-										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					○	調査の実施件数については、当初見込みより少なくなっているが、2019年度基本計画の決定等に資するため、効果的・効率的に調査を実施した結果であり、調査結果は適切に活用されている。また、コストの低減にも寄与している。									
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					○	我が国における社会的事業の実態把握や、海外調査等を実施し、2019年度基本計画の決定及び指定活用団体の2019年度事業計画の認可に当たって活用した。									
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					-										
	所管府省名	事業番号	事業名													

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.PwCあらた有限責任監査法人			B.EY新日本有限責任監査法人		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	調査経費	社会的課題の解決に寄与する活動に対する資金提供に関する海外調査	11	調査経費	我が国の社会的事業に対する資金的及び非資金的支援の実態に関する調査	11
				外部委託	株式会社プロセス・マネジメント	1
	計		11	計		12
	C.株式会社プロセス・マネジメント			D.弁護士A		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	調査経費	我が国の社会的事業に対する資金的及び非資金的支援の実態に関する調査	1	調査経費	指定活用団体の公募等に関する法務相談業務	1
	計		1	計		1
	E.株式会社エアクレーレン			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		(100万円未満)				
	計		0	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	PwCあらた有限責任監査法人	8010005011876	社会的課題の解決に寄与する活動に対する資金提供に関する海外調査	11	一般競争契約 (総合評価)	2	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	EY新日本有限責任監査法人	1010005005059	我が国の社会的事業に対する資金的及び非資金的支援の実態に関する調査	12	一般競争契約 (総合評価)	3	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社プロセス・マネジメント	9011001047137	我が国の社会的事業に対する資金的及び非資金的支援の実態に関する調査	1	一般競争契約 (総合評価)	-	-	-

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	弁護士A		指定活用団体の公募等に関する法務相談業務	1	随意契約 (その他)	1	-	-

E

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社エアクレー レン	4010401004009	「休眠預金等交付金に係る 資金の活用に関する基本 方針」の和文英訳作業	0.5	随意契約 (少額)	-	-	-
2	個人A		職員旅費	0	その他	-	-	-
3	株式会社エアクレー レン	4010401004009	「社会的事業に関する資金 提供実態に関する調査概 要」の和文英訳作業	0	随意契約 (少額)	-	-	-
4	株式会社アライ印刷	6010901000777	「社会的事業に関する資金 提供実態に関する調査報 告書」等の印刷について	0	随意契約 (少額)	-	-	-
5	沖ウインタック株式会 社	6010701001991	備品の設置作業	0	随意契約 (その他)	-	-	-
6	(有)創電社	4010502006218	備品の購入	0	随意契約 (少額)	-	-	-
7	株式会社エアクレー レン	4010401004009	「休眠預金等を活用した社 会課題解決に向けた国際 シンポジウム(仮)」の開催 概要資料の英文校閲作業	0	随意契約 (少額)	-	-	-
8	(有)創電社	4010502006218	備品の購入	0	随意契約 (少額)	-	-	-
9	株式会社エアクレー レン	4010401004009	「指定活用団体の主な作業 スケジュール(イメージ)」の 和文英訳作業	0	随意契約 (少額)	-	-	-
10	エイコウ商事(有)	4010502015219	備品の購入	0	随意契約 (少額)	-	-	-

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-		-	-		-	-	-